

運転代行フロント

front

③

「ファミリー観光」(福島市、朽木正美社長)は「FKタクシー」の運送業を柱とする企業グループ。FKタクシーの運行管理も採用し、安全輸送に万全を期す。

1982年に運転代行サービス開始。随伴車18台、従業員約40人。タクシー業には2006年に

ファミリー運転代行(福島市)



現場を預かる朽木専務。営業所・車庫はFKタクシーと同一敷地内にある

進出している。執る。「タクシーで必要な運行管理者の資格を持つな運行管理は運転代行のことだ」と強調。対面点つ朽木孝親務が指揮をするドライバーには厳しく呼や体調チェックをしてから随伴車の鍵を渡している。自動車事故対策機構の適性診断を受診させることもあり、安全教育に力を入れる。サービス面も充実。福島駅前に収容40台規模の時間貸し駐車場を経営しており、運転代行の利用を条件に無料開放している。利用ごとに100円券を配り、10枚たまると現金1000円をプレゼントするなど、固定客の獲得につなげている。

「幅広くお客を呼んでくれる店への営業を大切にしている」ようだ。月1回得意先の飲食店に顔を出す。家庭用ごみ袋を配布し、喜ばれている。

A-B間輸送(タクシーレンタ行)や白タクが後を絶たない様子。朽木専務は「随伴車に客を乗せることを見かけたら連絡を」と、タクシーアソシエイションを見かけたら連絡を」と、タクシーアソシエイションの会合で呼びかけている。

が難しいケースなど、日中、飲酒以外の二、三もあるという。人口減少社会に向け、新たな事業への参入を視野に入れる。